



XDB38,XDB30,XDB30SIM,XDB16,XDB16SIM 使用上の注意事項

1996年6月1日

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、三菱マイクロコンピュータならびに三菱開発サポート装置をご使用いただき、ありがとうございます。

XDB38,XDB30,XDB30SIM,XDB16,XDB16SIM(以下、XDBxx シリーズとします)をご使用いただくにあたり、下記に示します点にご注意頂きますようお願い申し上げます。

今後とも三菱半導体製品をご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1 Solaris2.5 上で FEP に atok8 を使用している場合の注意

Solaris2.5 上で FEP に atok8 を使用している場合に XDBxx シリーズを動作させると、テキスト入力が正しく行えない(例えば、“1”と1字入力すると“11”と2文字表示されてしまう)という現象が発生することがわかりました。

以下の2つの環境変数を設定することにより、正常に動作させることが出来ます。

(1). 環境変数 XMODIFIERS の設定

環境変数 XMODIFIERS を以下のように設定します。

(i) C シェルを使用している場合

```
setenv XMODIFIERS @im=atok8
```

(ii) Bourne シェル、Korn シェルを使用している場合

```
XMODIFIERS=@im=atok8  
export XMODIFIERS
```

(2). 環境変数 XIMP_TYPE の設定

環境変数 XIMP_TYPE を以下のように設定します。

(i) C シェルを使用している場合

```
setenv XIMP_TYPE XIMP_FE_TYPE1
```

(ii) Bourne シェル、Korn シェルを使用している場合

```
XIMP_TYPE=XIMP_FE_TYPE1  
export XIMP_TYPE
```

なお、上記設定に関しては、Solaris2.5 に添付されているマニュアル「atok8 のインストールとセットアップ」もあわせて御参照下さい。

2 Solaris 上の漢字コードについて

Solaris 上で XDBxx シリーズを動作させた場合、SJIS コードで書かれたソースコードを表示することが出来ません。Solaris 上では EUC コードで書かれたソースコードのみ表示できます。

以上

技術的な内容に関するお問い合わせは、FAX あるいは E-Mail にて下記までお送りくださいますようお願い致します。

応用システム第二事業部	ツール技術部	開発ツールソフトウェアサポート窓口
大阪地区		FAX : (06) - 338 - 4471
東京地区		FAX : (03) - 3490 - 7524
名古屋地区		FAX : (052) - 221 - 7318
福岡地区		FAX : (092) - 452 - 1427
サポート専用 E-Mail アドレス		support@tool.msc.hoku.melco.co.jp

発行元

三菱電機セミコンダクタソフトウェア株式会社

大阪/本社 応用システム第二事業部 ツール技術部ツール第三課